

令和8年度入学試験問題

受験上の注意

1. 監督の指示により、解答用紙に受験番号（算用数字）、氏名、フリガナ、解答する科目を記入し、受験番号、該当する試験日、解答する科目をマークしてください。記入については解答用紙の注意事項に従ってください。
2. 問題冊子と解答用紙の解答番号を間違えないように注意してください。
3. 各科目のページは、次のとおりです。試験開始の合図があったら、まず受験する科目のページ数を確認してください。

科目	ページ
日本史	2～17
世界史	18～41
地理	44～69
公民	70～87

4. 試験時間中は、受験票を机上の受験番号の下に呈示しておいてください。
5. 質問、その他用件があるときは、手を挙げて合図してください。
6. 試験時間中の退室は認めません。
7. 試験時間は60分です。
8. この問題冊子は持ち帰ってください。

開始の合図があるまで開かないでください

世界史

〔 I 〕 次の文章を読み、下記の問1～問10に答えなさい。解答番号は ～

14世紀後半、現在のベラルーシ、ウクライナ、さらに^(a)ドニエプル川を越えた領域まで支配する国となっていたリトアニア大公国は、その北西部において、リヴォニア騎士団や^(b)ドイツ騎士団による攻撃を受けていた。こうした中、1377年にリトアニア大公位についたのがヤゲウォであった。いっぽう、隣国のポーランド王国では、^(c)ルドヴィク王が死去したあと、^(d)1384年に王の末娘であるヤドヴィガが王（女王）に選ばれた。ポーランド王国は、ドイツ騎士団を脅威と感じていたため、1386年にリトアニア大公ヤゲウォを招いてヤドヴィガ王の夫とし、ポーランド王として即位させた。同君連合たるヤゲウォ（ヤゲロー）朝リトアニア=ポーランド王国の基礎はこのときに築かれたといえる。リトアニア=ポーランド王国は、15世紀にはドイツ騎士団領を手中におさめて領土を拡大し、バルト海を通じて穀物や木材などを輸出して経済的にも繁栄していった。

^(e)16世紀後半、およそ2世紀間にわたるヤゲウォ朝が断絶した。新たな王を選ぶ必要に迫られたリトアニア=ポーランド王国は、^(f)ヴァロワ家のアンリを王に選出した。アンリは、兄であるフランス王シャルル9世が死去すると、ポーランドを去り、フランス王位についた（アンリ3世）。リトアニア=ポーランド王国では、帰国しないアンリを看過できず、王を再度選出することにした。その結果、ヤゲウォ家の血を引く^(g)トランシルヴァニア公を王として迎え入れた。この選出には、かつてのポーランド王ジグムントの娘、アンナとの結婚が条件とされ、公とアンナとの共同統治がなされた。

王となったトランシルヴァニア公の死後、リトアニア=ポーランド王国は、次なる王としてスウェーデン王の子息のジグムント3世を選出した。新王は、1594年にスウェーデン王にも即位した。しかし、スウェーデン王国では^(h)ルター派の信条を受け入れていたため、カトリックに強く傾倒するジグムント3世への反発は強かった。スウェーデン王国は新たな王を選び、リトアニア=ポーランド王国との戦争を始めた。なかでも1611年にスウェーデン王に即位した は、この戦争を続けながら、⁽ⁱ⁾三十年戦争にも介入した。

ジグムント3世亡きあとのリトアニア=ポーランド王国は、度重なる侵攻を受け、そ

の領土をしだいに侵食されていった。

問1 下線部(a)流域のスラヴ人地域に、ノルマン人の一派が進出し、9世紀にノヴゴロド国が建国された。この一派を率いた人物として最も適切なものを、次の①～⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① アッティラ ② エグバート ③ オドアケル
④ クヌート（カヌート） ⑤ リューリク ⑥ ロロ

問2 下線部(b)は、十字軍の時代に聖地への巡礼の保護を目的に創設された宗教騎士団の一つである。11世紀に始まり13世紀まで続いた十字軍について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 第1回十字軍は、グレゴリウス7世が提唱し、各国の諸侯や騎士たちがイェルサレムに向かった。
② 第2回十字軍は、サラディン（サラーフ=アッディーン）と戦い、イェルサレムを奪われた。
③ 第3回十字軍は、コンスタンティノーブルを攻め、ラテン帝国をたてた。
④ 第4回十字軍は、ボニファティウス8世のもとでおこなわれた。
⑤ ルイ9世が主導した2度に及ぶ十字軍は、北アフリカの町を攻撃した。

問3 下線部(c)は、ハンガリー王でもあった。ハンガリーの歴史に関連し、次に述べた文 a～c の正誤を判断し、その組み合わせとして最も適切なものを、下記の①～⑧から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- a マジャール人は、10世紀末にハンガリー王国をたてカトリックを受容した。
- b マジャール人は、東フランク王国への侵入を企てたが、オットー1世によって退けられた。
- c 19世紀後半、同君連合のオーストリア=ハンガリー帝国（二重帝国）が成立した。

- | | | | | | |
|-------|-----|-----|-------|-----|-----|
| ① a：正 | b：正 | c：正 | ② a：正 | b：正 | c：誤 |
| ③ a：正 | b：誤 | c：正 | ④ a：正 | b：誤 | c：誤 |
| ⑤ a：誤 | b：正 | c：正 | ⑥ a：誤 | b：正 | c：誤 |
| ⑦ a：誤 | b：誤 | c：正 | ⑧ a：誤 | b：誤 | c：誤 |

問4 下線部(d)と同世紀（14世紀）の出来事について述べた文として誤っているものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① モスクワ大公国が、モンゴルの支配から脱し、独立を達成した。
- ② デンマーク、スウェーデン、ノルウェーの間でカルマル同盟が結ばれた。
- ③ 神聖ローマ皇帝カール4世が、金印勅書を発布した。
- ④ ハンガリー王が率いるヨーロッパ連合軍が、ニコポリスでオスマン帝国軍に敗れた。
- ⑤ イングランドでは、ワット=タイラーの乱がおこった。

問5 下線部(e)の出来事について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① ベーメンでは、フス派の人々の反乱（フス戦争）がおこった。
- ② コンスタンティノーブルが、オスマン帝国によって征服された。
- ③ イングランドでは、王位を争うバラ戦争が始まった。
- ④ フランスでは、フィリップ4世が全国三部会（三部会）を開いた。
- ⑤ ポルトガルがインド西岸のゴアを占領し、総督府を置いた。

問6 下線部(f)に関連し、ヴァロワ朝期（1328～1589年）の出来事について述べた文として誤っているものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① イングランド王のエドワード3世がフランス王位の継承権を主張し、フランスに侵攻した。
- ② ジャンヌ=ダルクが現れ、オルレアンを解放した。
- ③ アンリ4世がナントの王令を発し、ユグノーに信仰の自由を与えた。
- ④ フランス王が領土拡大を目指してイタリアに侵入し、イタリア戦争が始まった。
- ⑤ サンバルテルミの虐殺事件では、多数のユグノーが殺された。

問7 下線部(g)は、16世紀には、オスマン帝国やハンガリー王国の支配下に置かれていた。オスマン帝国について述べた次の文 a～c の正誤を判断し、その組み合わせとして最も適切なものを、下記の①～⑧から一つ選び、その番号をマークしなさい。

7

- a キリスト教徒の少年を徴募し、ムスリムとして教育して官僚・軍人とするデヴシルメ制度を採った。
- b 統治にあたり、イスラームの知識人であるアーリマンを活用した。
- c 外国人商人には、カーリミーと呼ばれる通商特権が恩恵として与えられていた。

- | | | | | | |
|---------|-------|-------|---------|-------|-------|
| ① a : 正 | b : 正 | c : 正 | ② a : 正 | b : 正 | c : 誤 |
| ③ a : 正 | b : 誤 | c : 正 | ④ a : 正 | b : 誤 | c : 誤 |
| ⑤ a : 誤 | b : 正 | c : 正 | ⑥ a : 誤 | b : 正 | c : 誤 |
| ⑦ a : 誤 | b : 誤 | c : 正 | ⑧ a : 誤 | b : 誤 | c : 誤 |

問8 下線部(h)は、宗教改革者のルターのことである。ルターに関連し、ヨーロッパの宗教改革について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 8

- ① カルヴァンは、「九十五カ条の論題」を作成し、教会を批判した。
- ② グーテンベルクは、『愚神礼賛』を著し、出版した。
- ③ ツヴィングリは、『キリスト教綱要』を著した。
- ④ ミュンツァーは、『新約聖書』のドイツ語訳をおこない、出版した。
- ⑤ ルターは、『キリスト者の自由』を著し、信仰義認説を主張した。

問9 に入る人名として最も適切なものを、次の①～⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。 9

- | | | |
|-------------|------------|-------------|
| ① ヴァレンシュタイン | ② ヴィルヘルム1世 | ③ グスタフ=アドルフ |
| ④ クロムウェル | ⑤ ドレーク | ⑥ マルグレーテ |

問10 下線部(i)について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

10

- ① この戦争は、ベーメン（ボヘミア）の反乱をきっかけとして始まった。
- ② この戦争では、神聖ローマ皇帝カール5世がみずから軍を率いた。
- ③ この戦争では、カトリック国のフランスが神聖ローマ皇帝側についた。
- ④ この戦争は、マーストリヒト条約の締結により終結した。
- ⑤ この戦争終結の講和によって、ハンガリーの独立が公式に認められた。

〔Ⅱ〕 次の新聞記事を読み、下記の問1～問10に答えなさい。解答番号は ～

(a) トルコと日本が今年で外交関係樹立100周年を迎え、3日から秋篠宮さまが紀子さまとともに公式訪問する。「親日国」として知られるトルコとの関係は、政府と市民と皇室によって築かれてきた。関係発展に尽くした人らは「1世紀にわたる(b)友情の物語を広く両国民に知ってほしい」と期待を寄せる。

秋篠宮ご夫妻は3日に現地に入り、最大の都市(c)イスタンブルで100周年の記念式典に出席するほか多数の行事に臨み、8日に帰国する。

日本・トルコ協会（東京都港区）によると、両国の友好的な初期の接点は(d)1887（明治20）年に明治の皇族、小松宮夫妻が(e)当時のオスマン帝国を訪問したことにさかのぼる。

1890年におきたエルトゥール号事件は両国の友好の「起点」とされる。(f)オスマン帝国の軍艦エルトゥール号は、小松宮の訪問の答礼として派遣されたが、帰路に和歌山県沖で沈没。日本側が官民あげて救援にあたった。500人以上が亡くなり、生存者69人は治療のうえ、トルコに送り届けられ、両国では今でも追悼の式典が続けられている。

(g)第二次世界大戦によって一時国交が無くなったが、戦後には昭和天皇の末弟、故・三笠宮ご夫妻が訪問。以来、故・寛仁さま、彬子さまと3代にわたり同国との交流を後押ししている。

同協会の大曲祐子事務局次長は「現在の良好な関係は皇室、政府、市民による『三層外交』の積み重ね」と説明する。

(h) イラン=イラク戦争下の1985年にはイランの首都 に取り残された日本人のため、トルコ航空がフライトを決行。215人を救出した。

1999年、約2万人が犠牲となったトルコ大地震の際には、日本から仮設住宅を届けた。当時、駐トルコ大使だった遠山敦子さんの念頭にあったのは助け合いの歴史だ。「離れていても助け合える関係が重要だと考えていた」と振り返る。2011年3月の東日本大震災時に来日したトルコの支援・救助チームは諸外国の中で最長の約3週間活動した。

遠山さんは「(i)アジアの西端と東端に位置する両国は距離を超えて関係を深めてきた。

100周年での訪問をきっかけに相互理解がさらに進んでほしい」と語る。

(『朝日新聞』2024年12月3日(朝刊)、「トルコ国交100年 つなぐ皇室」より。一部省略や表記を変えたところがある。朝日新聞社に無断で転載することを禁じる。承諾番号：26-0519)

問1 下線部(a)を記念し、日本では2024年8月に「日・トルコ外交関係樹立100周年」の記念切手(10種)が発行された。そのうちの2種の切手の絵柄に関する【補足説明】を読み、それに関連した次の文a・bの正誤を判断し、その組み合わせとして最も適切なものを、下記の①～④から一つ選び、その番号をマークしなさい。

11

著作権上の都合により非公開

切手A

切手B

【補足説明】

切手Aに描かれている建造物はスルタンアフメト=モスク(ブルー=モスク)であり、オスマン帝国第14代スルタンのアフメト1世によって17世紀前半に建造された。

切手Bに描かれている海はボスフォラス海峡であり、中央に描かれている建造物はオルタキョイ=モスクである。

- a スルタンの称号が公式に使用されたのは、セルジューク朝の建国者であるトゥグリル=ベクがアッバース朝のカリフより与えられてからである。
- b ボスフォラス海峡はダーダネルス海峡とともに、地中海とカスピ海とを結ぶ重要な海峡である。

- ① a : 正 b : 正 ② a : 正 b : 誤
③ a : 誤 b : 正 ④ a : 誤 b : 誤

問 2 下線部(b)に関連し、古代ローマの共和政末期に『友情について』を著した政治家・哲学者がいる。『国家論』の著者でもあるその人物として最も適切なものを、次の①～⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。 12

- ① ウェルギリウス ② キケロ ③ ストラボン
④ ホラティウス ⑤ ポリビオス ⑥ リウィウス

問 3 下線部(c)の歴史について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 13

- ① イスタンプルの地は、古代においてラテン人の植民市であり、ビザンティオン（ビザンティウム）と呼ばれた。
- ② コンスタンティヌス帝が紀元1世紀にビザンティオンに遷都すると、彼の名にちなんでコンスタンティノープルと呼ばれるようになった。
- ③ メフメト2世がコンスタンティノープルを攻略し、ビザンツ帝国は滅亡した。
- ④ アルハンブラ宮殿は、イスタンプルに建造された。
- ⑤ トルコ共和国は、イスタンプルを首都として建国された。

問4 下線部(d)に関連し、1880年代の日本でおきた次の事項(あ)～(う)が発生した年代の古い順に正しく並べてあるものを、下記の①～⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。 14

- (あ) 大日本帝国憲法の発布
- (い) 国会開設の勅諭
- (う) 内閣制度の発足

- ① (あ) → (い) → (う) ② (あ) → (う) → (い)
- ③ (い) → (あ) → (う) ④ (い) → (う) → (あ)
- ⑤ (う) → (あ) → (い) ⑥ (う) → (い) → (あ)

問5 下線部(e)のオスマン帝国では第34代スルタンのアブデュルハミト2世が在位していた。彼が即位した1876年、大宰相の要職にあった人物に憲法を起草させた。大宰相の【人物名】(A～C)と憲法の【影響】(x～z)の組み合わせとして最も適切なものを、下記の①～⑨から一つ選び、その番号をマークしなさい。 15

【人物名】

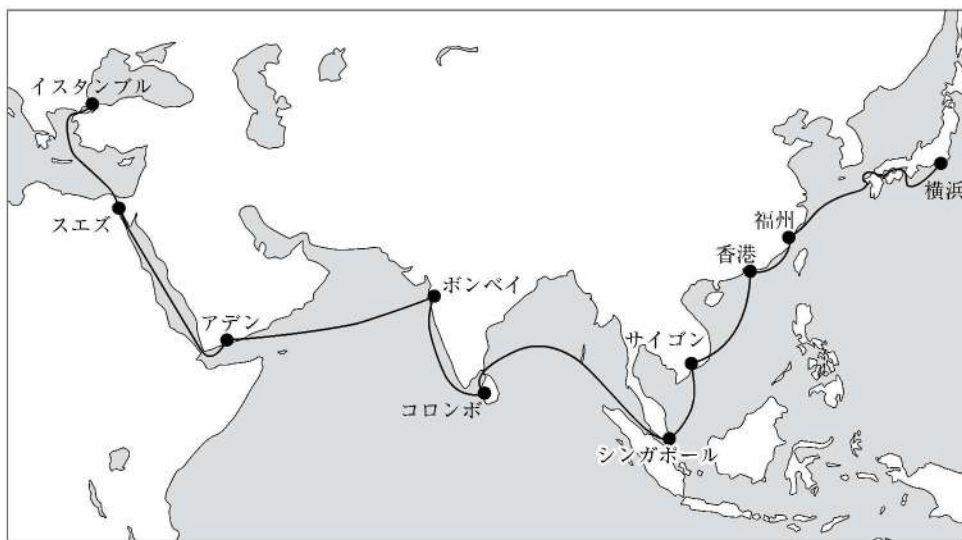
- A：ムハンマド=アリー
- B：ミドハト=パシャ
- C：レザー=ハーン

【影響】

- x：この憲法は、議会や国民の反対によってただちに廃止された。
- y：この憲法により設置された議会で、「青年トルコ人」の禁止が決議された。
- z：この憲法はいったん停止されたが、青年トルコ革命によって復活した。

- ① A—x ② A—y ③ A—z
- ④ B—x ⑤ B—y ⑥ B—z
- ⑦ C—x ⑧ C—y ⑨ C—z

問6 下線部(f)の軍艦エルトゥール号が日本へ至る航路を示したのが次の地図である。地図中の寄港地について述べた次の文a～eには誤っているものが二つある。その組み合わせとして最も適切なものを、下記の①～⑩から一つ選び、その番号をマークしなさい。 16



(地図：CraftMAP <http://www.craftmap.box-i.net/>)

- a スエズ運河国有化宣言をきっかけに第2次中東（スエズ）戦争が始まった。
- b ボンベイはオランダ東インド会社の拠点の一つであった。
- c シンガポールでは17世紀前半にアンボイナ事件がおこった。
- d ナポレオン3世治下のフランスは、サイゴンを中心とするインドシナ南部を直轄植民地とした。
- e 香港（香港島）は、南京条約によってイギリスへ割譲された。

- ① aとb ② aとc ③ aとd ④ aとe ⑤ bとc
- ⑥ bとd ⑦ bとe ⑧ cとd ⑨ cとe ⑩ dとe

問7 下線部(g)に関連し、第二次世界大戦以前のトルコについて述べた次の文 a～c の正誤を判断し、その組み合わせとして最も適切なものを、下記の①～⑧から一つ選び、その番号をマークしなさい。 17

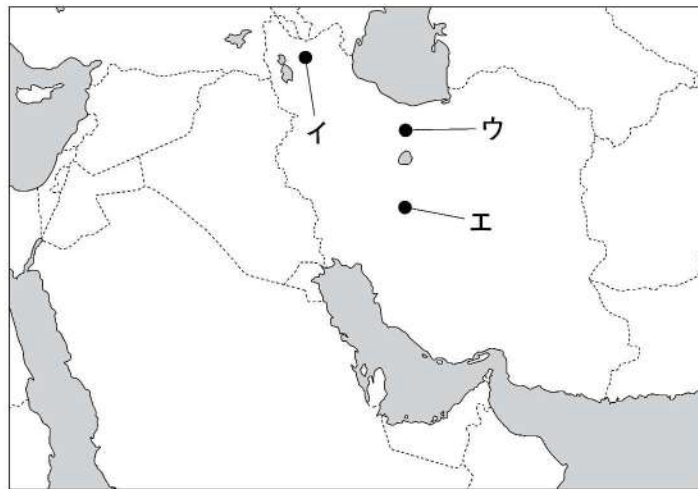
- a 第一次世界大戦後、敗戦国のオスマン帝国はセーヴル条約によって領土が分割された。
- b オスマン帝国滅亡後、トルコの新政権は連合国とロカルノ条約を締結し、ムスタファ=ケマルを大統領とするトルコ共和国を建国した。
- c トルコ共和国では政教分離・文字改革・太陽暦の採用などを進め、西欧をモデルとする国家建設を推進した。

- | | | | | | |
|-------|-----|-----|-------|-----|-----|
| ① a：正 | b：正 | c：正 | ② a：正 | b：正 | c：誤 |
| ③ a：正 | b：誤 | c：正 | ④ a：正 | b：誤 | c：誤 |
| ⑤ a：誤 | b：正 | c：正 | ⑥ a：誤 | b：正 | c：誤 |
| ⑦ a：誤 | b：誤 | c：正 | ⑧ a：誤 | b：誤 | c：誤 |

問8 下線部(h)の出来事が入る箇所として最も適切なものを、次の年表中の①～④から一つ選び、その番号をマークしなさい。 18

1978年	<div style="text-align: center;">①</div> <p style="text-align: center;">イラン=イスラーム革命</p> <div style="text-align: center;">②</div> <p style="text-align: center;">イラクのクウェート侵攻</p> <div style="text-align: center;">③</div> <p style="text-align: center;">湾岸戦争</p> <div style="text-align: center;">④</div>
1993年	

問9 の首都名と、その位置を示した次の地図（国境は現在）中のイ～エの組み合わせとして最も適切なものを、下記の①～⑨から一つ選び、その番号をマークしなさい。



(地図：CraftMAP <http://www.craftmap.box-i.net/>)

- | | | | |
|---|-----------|---|-----------|
| ① | イスファハーン—イ | ② | イスファハーン—ウ |
| ③ | イスファハーン—エ | ④ | タブリーズ —イ |
| ⑤ | タブリーズ —ウ | ⑥ | タブリーズ —エ |
| ⑦ | テヘラン —イ | ⑧ | テヘラン —ウ |
| ⑨ | テヘラン —エ | | |

問10 エルトゥールル号が沈没した19世紀後半に、下線部(i)の「両国」の間に位置した諸国における次の出来事(あ)～(う)が年代の古い順に正しく並べてあるものを、下記の①～⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。 20

(あ) フランス領インドシナ連邦が成立した。

(い) 甲午農民戦争(東学の乱)がおこった。

(う) 清仏戦争が始まった。

① (あ) → (い) → (う) ② (あ) → (う) → (い)

③ (い) → (あ) → (う) ④ (い) → (う) → (あ)

⑤ (う) → (あ) → (い) ⑥ (う) → (い) → (あ)

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の問1～問10に答えなさい。解答番号は ～

馬の家畜化と騎乗は、一説に前4000年頃、今のウクライナ付近で始まったとされる。また前3000年頃のメソポタミアで荷車が発明され、当初ロバがそれを牽いていたが、馬がしだいにそれに代わったという。荷馬車の使用は二輪戦車の出現につながった。

そして前19世紀にアムル人が築いた は、前16世紀頃に と二輪戦車の使用により軍事的に強勢となったヒッタイト人によって滅ぼされた。

また前7世紀頃、西アジアにおいて鉄製武器と戦車の利用に長けたアッシリアが新たに台頭し、全オリエントを統一した。アッシリアは広大な地域の様々な民族集団を支配下においたが、前612年、新バビロニアと の勢力によって破られ、オリエントには ・ ・新バビロニア・エジプトが分立した。しかし新バビロニアと も も、やはり馬の扱いに長けた^(a)アケメネス（アカイメネス）朝ペルシアによって滅ぼされた。^(b)アケメネス朝は、中心都市と地方都市とを結ぶ道路を整備し、駅伝網を構築した。馬は戦争のみならず帝国の交通の主役となっていった。

いっぽう、東アジアでは前1600年頃に成立した^(c)殷において戦車が用いられたことが考古学的に確認されている。その殷もまた周との戦車戦に敗れたのを契機に滅んだ。そして周は西方からの遊牧民の侵入により遷都することとなった。ついで、同じ西方地域から東へと進出してきたのは^(d)秦であった。周辺の遊牧民と抗争してきた秦もまた馬の育成や扱いに優れていた。

馬と生活を共にする遊牧民の動向も見過ごすことができない。ヘロドトスの『』には、ペルシア周辺とくに黒海北方に居住していた が、騎乗して弓を使うことに優れたことを記している。 の文化は武器・馬具に黄金を用い、動物文様を施す特徴があり、その一端は前3世紀頃に強盛となった に継承された。

『史記』を著した は、 の生活の様子や歴史について詳細に記録した。それによれば、秦の始皇帝は遊牧民の侵入を食い止めるため、戦国時代の長城を修築し、侵攻してくる を撃退したという。しかし、統治制度の確立を前に始皇帝が亡く

なり、反乱がおきるとまもなく王朝は瓦解した。かわって成立した^(e)漢（前漢）は、高祖劉邦の率いる一隊が に包囲されて、建国早々、崩壊の危機に瀕した。

このように馬の運用は、単に移動手段に革命的な変化をもたらしたのみならず、戦闘の方法を大きく変え、その後長らく、王朝の存亡を左右する重要な要素の一つとなった。

問1 に入る王朝（国）名として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① イスラエル王国
- ② ウル第3王朝
- ③ セレウコス朝
- ④ バビロン第1王朝（古バビロニア王国）
- ⑤ ユダ王国

問2 に入る語として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 楽器 ② 磁器 ③ 銃器 ④ 鉄器 ⑤ 銅器

問3 ・ に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① ウ：テイルス エ：パルティア
- ② ウ：テイルス エ：リディア（リュディア）
- ③ ウ：ヒクソス エ：パルティア
- ④ ウ：ヒクソス エ：リディア（リュディア）
- ⑤ ウ：メディア エ：パルティア
- ⑥ ウ：メディア エ：リディア（リュディア）

問4 下線部(a)について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 24

- ① アルサケスのときに独立した。
- ② イッソスの戦いでは、ダレイオス3世がアレクサンドロス軍に勝利した。
- ③ ダレイオス1世は、ギリシア遠征をおこなった。
- ④ テミストクレスはアケメネス朝の艦隊に敗北した。
- ⑤ ペロポネソス戦争の結果、ギリシアとの間にデロス同盟が結ばれた。

問5 下線部(b)について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 25

- ① その一部は、王の道と呼ばれた。
- ② オリンピアの祭典を開催することで地方と人の行き来を促進した。
- ③ 郡県制をおこない、道路に等級をつけた。
- ④ 駅伝網にジャムチを採用した。
- ⑤ 各地の知事（サトラップ）はイクター制により徴税し、税収を中央に運ばせた。

問6 下線部(c)について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 26

- ① 青銅の貨幣を発行した。
- ② 長江中流域を中心に発展した。
- ③ 祭祀や軍事行動の際に占いが参考にされた。
- ④ 殷墟は、殷の前期の都の遺跡である。
- ⑤ 甲骨文字は、法律文書を書くために用いられた。

問7 下線部(d)の首都名として最も適切なものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 27

- ① 大興城 ② 開封 ③ 咸陽 ④ 北京 ⑤ 洛陽

問 8 ・ に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～

⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① オ：神統記 ク：司馬遷
- ② オ：神統記 ク：司馬光
- ③ オ：神統記 ク：班固
- ④ オ：歴史 ク：司馬遷
- ⑤ オ：歴史 ク：司馬光
- ⑥ オ：歴史 ク：班固

問 9 ・ に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～

⑥から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① カ：ウイグル キ：大月氏
- ② カ：ウイグル キ：匈奴
- ③ カ：サカ キ：大月氏
- ④ カ：サカ キ：匈奴
- ⑤ カ：スキタイ キ：大月氏
- ⑥ カ：スキタイ キ：匈奴

問10 下線部(e)について述べた次の文 (あ) ~ (え) が年代の古い順に正しく並べてあるものを、下記の①~⑫から一つ選び、その番号をマークしなさい。 30

- (あ) 王莽が外戚となった。
- (い) 郡国制が施行された。
- (う) 呉楚七国の乱がおきた。
- (え) 南越を滅ぼした。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ① (あ) → (い) → (う) → (え) | ② (あ) → (い) → (え) → (う) |
| ③ (あ) → (う) → (い) → (え) | ④ (あ) → (う) → (え) → (い) |
| ⑤ (い) → (あ) → (う) → (え) | ⑥ (い) → (あ) → (え) → (う) |
| ⑦ (い) → (う) → (え) → (あ) | ⑧ (い) → (え) → (う) → (あ) |
| ⑨ (う) → (あ) → (い) → (え) | ⑩ (う) → (あ) → (え) → (い) |
| ⑪ (う) → (え) → (あ) → (い) | ⑫ (う) → (え) → (い) → (あ) |

〔Ⅳ〕 次の問1～問10に答えなさい。解答番号は ～

問1 15～16世紀における東アジアの動向について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 明は、農村では均田制を実施し社会の安定化をはかった。
- ② 明の永楽帝は、北京から南京へ遷都した。
- ③ 明は、倭寇や海上の反明勢力と沿岸住民との結合を防ぐため、人びとが海に出ることを、交易を含めて禁じた。
- ④ 明は、宦官でキリスト教徒の鄭和に命じて、大船団を率いて南海方面に遠征させた。
- ⑤ 朝鮮で、表意文字の訓民正音（ハングル）が制定された。

問2 明と朝貢関係を結んだ国（王朝、政権）として当てはまらないものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 朝鮮（李朝） ② 豊臣政権 ③ ベトナム（黎朝）
- ④ マラッカ（ムラカ）王国 ⑤ 琉球王国

問3 イスラーム勢力は、ウマイヤ朝・アッバース朝の時代、西アジアを中心に、西は地中海沿岸の北部アフリカ、イベリア半島から、東は中央アジアまでの広大な領域を支配した。アッバース朝の支配が緩むと、10世紀にはこれらの地にくつものイスラーム王朝・国家が林立した。11世紀にはイスラーム勢力による支配が北インド・小アジアにも及んだ。これらのイスラーム世界における文化について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

33

- ① イスラーム教は偶像崇拝を容認したため、偶像を装飾するアラベスク文様が発達した。
- ② 法学・神学など固有の学問のほか、哲学・数学など外来の学問がマムルーク（都市の知識人たち）によって研究された。
- ③ イスラーム法は、『コーラン（クルアーン）』とスルタンの言行を伝える伝承をもとに体系化された。
- ④ イスラーム教の礼拝のための施設をモスクといい、学院をマドラサといった。
- ⑤ ウマル=ハイヤームが、四行詩の『千夜一夜物語（アラビアン=ナイト）』を著した。

問4 15～16世紀における南・西アジアの動向について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。

34

- ① サファヴィー朝は、スンナ派（スンニー）を国教とした。
- ② サファヴィー朝のアッバース1世は、イギリス人をホルムズ島から駆逐した。
- ③ ティムール朝が、イル=ハン国によって滅ぼされた。
- ④ バーブルが北インドに進出し、パガン朝を倒してムガル帝国をたてた。
- ⑤ ムガル帝国のアクバルは、ヒन्दゥー教徒など非ムスリムへの人頭税を廃止した。

問5 17～18世紀における東アジアの動向について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 35

- ① 白蓮教徒を中心とする紅巾の乱により、明が滅んだ。
- ② 鄭成功がポルトガル人を駆逐して台湾を占領した。
- ③ 朝鮮では、宗主国であった明が滅ぶと、儒教による儀礼が廃れた。
- ④ 満洲人（女真人）が清をたてた。
- ⑤ 清は八旗と呼ばれる特定の商人にヨーロッパ船との取引を独占させた。

問6 ロシアのシベリア・極東進出にともない、17世紀以降、清とのあいだで数度にわたり条約が結ばれた。次の表はそれらにおける国境画定の経緯を簡潔にまとめたものである。表中の〈a〉・〈b〉に入る説明の組み合わせとして最も適切なものを、下記の①～⑨から一つ選び、その番号をマークしなさい。 36

年次	条約名	説明
1689年	ネルチンスク条約	満洲北方の国境を画定。
1727年	キャフタ条約	モンゴル北方の国境を画定。
1858年	アイグン条約	〈a〉
1860年	北京条約	〈b〉

- ① 〈a〉：清領を広げて画定。 〈b〉：清領を広げて画定。
- ② 〈a〉：清領を広げて画定。 〈b〉：国境は従来と変わらず。
- ③ 〈a〉：清領を広げて画定。 〈b〉：ロシア領を広げて画定。
- ④ 〈a〉：国境は従来と変わらず。 〈b〉：清領を広げて画定。
- ⑤ 〈a〉：国境は従来と変わらず。 〈b〉：国境は従来と変わらず。
- ⑥ 〈a〉：国境は従来と変わらず。 〈b〉：ロシア領を広げて画定。
- ⑦ 〈a〉：ロシア領を広げて画定。 〈b〉：清領を広げて画定。
- ⑧ 〈a〉：ロシア領を広げて画定。 〈b〉：国境は従来と変わらず。
- ⑨ 〈a〉：ロシア領を広げて画定。 〈b〉：ロシア領を広げて画定。

問7 18～19世紀における南アジアの動向について述べた次の枠内の文章を読み、
アに入る国名として最も適切なものを、下記の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 37

イギリス東インド会社軍は、1757年、アとベンガル太守の連合軍をプラッシーの戦いで破り、ベンガル地方を東インド会社領として税を徴収した。18世紀後半からイギリス本国で綿工業が発達すると、その影響で19世紀にはインドの綿布産業は大打撃を受け、植民地支配はさらに強化された。インドの人びとの反英感情を背景にして、1857年、シパーヒーによる大反乱がおきた。この反乱は、イ。

- ① アメリカ ② オランダ ③ スペイン
④ フランス ⑤ ポルトガル

問8 問7の枠内の文章のイに入る一節として最も適切なものを、次の①～④から一つ選び、その番号をマークしなさい。 38

- ① イギリス軍により鎮圧され、1877年にはインド帝国が成立した
② イギリス軍により鎮圧され、1877年にはインド共和国が成立した
③ イギリス軍を国外に追放し、1877年にはインド帝国が成立した
④ イギリス軍を国外に追放し、1877年にはインド共和国が成立した

問9 清の乾隆帝の事績について述べた文として正しいものを、次の①～⑤から一つ選び、その番号をマークしなさい。 39

- ① 清朝治下で初めてキリスト教の布教を禁止した。
② 地丁銀制を創始した。
③ 反清活動の拠点であった台湾を占領した。
④ ジュンガルを滅ぼして、東トルキスタン一帯を占領した。
⑤ 辮髪令を廃止した。

問10 19世紀における清の動向について述べた文として誤っているものを、次の①～

④から一つ選び、その番号をマークしなさい。 40

- ① 清はアヘン戦争の結果、領土の割譲のほか、最恵国待遇を認める不平等な条約を結ばされた。
- ② 清はアロー戦争の結果、11港の開港、キリスト教布教の自由、公使の北京駐在などを認めさせられた。
- ③ 洪秀全がおこした太平天国は、女性も含めた耕地の均分化など、社会経済上の改革構想をもっていた。
- ④ 太平天国の鎮圧後に清の政治を主導した漢人官僚は、儒教倫理を否定し、欧米の政治制度を範とする「中体西用」の考え方で臨んだ。